



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月9日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社  
コード番号 6380 URL <https://www.ocm.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー  
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,958	21.5	113	68.4	132	87.1	87	
2022年3月期第3四半期	2,434	14.1	67		70		2	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	62.85	
2022年3月期第3四半期	1.71	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	4,034	1,552	36.1	1,120.03
2022年3月期	4,109	1,456	35.4	1,050.85

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 1,552百万円 2022年3月期 1,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,698	10.2	142	31.5	174	47.2	109	288.6	79.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	1,467,233 株	2022年3月期	1,467,233 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	81,158 株	2022年3月期	80,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	1,386,185 株	2022年3月期3Q	1,386,417 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、国内外において経済活動の制限が段階的に緩和され、企業の生産活動や設備投資には持直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰、多岐におよぶ物価の高騰、為替市場での急激な変動、新たな変異株の感染による感染再拡大等、景気に悪影響を及ぼす様々な要因があり、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下にあつて当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。コロナによる制限が緩和されたことにより国内外の受注動向に改善の傾向が見られ積極的に営業活動を行ってまいりました。一方、原材料やエネルギーコスト等の高騰に対応するため販売価格の見直しなど展開しておりますが、改善には一定の時間が必要と見込まれます。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,958百万円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益113百万円（前年同四半期比68.4%増）、経常利益132百万円（前年同四半期比87.1%増）、四半期純利益87百万円（前年同四半期比3,569.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①チェーン事業

国内では、搬送機械業界・運搬機械業界や工作機械業界向けが大きく増加し、多くの業界向けに回復の兆しが見られました。一方、輸出においても、北米、アジア向けが大きく増加しました。これらの結果、売上高は2,761百万円（前年同四半期比22.8%増）、営業利益は214百万円（前年同四半期比36.6%増）となりました。

#### ②金属射出成形事業

医療機器分野での受注が増加し、一時的に自動車業界向けの受注が増加しました。その結果、売上高は191百万円（前年同四半期比24.3%増）、営業利益は36百万円（前年同四半期比132.2%増）となりました。

#### ③不動産賃貸事業

賃貸不動産事業につきましては、テナントの移転の影響により、売上高は5百万円（前年同四半期比81.7%減）、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業利益17百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、4,304百万円で、前期末に比べて194百万円増加しました。これは、前期末と比べ、受取手形、棚卸資産等が増加したことを主要因として、流動資産が2,584百万円と211百万円増加、また、固定資産が1,719百万円と17百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,751百万円で、前期末に比べて98百万円増加しました。これは、前期末と比べ、支払手形等の増加を主要因として、流動負債が1,499百万円と51百万円増加したこと（支払手形が86百万円、短期借入金が106百万円増加、未払法人税等が44百万円、その他の流動負債に含まれる設備未払金、設備支払手形がそれぞれ58百万円、57百万円減少）、また、固定負債が1,251百万円と46百万円増加（長期借入金が73百万円増加、退職給付引当金が26百万円減少）したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、1,552百万円で、前期末と比べ95百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前期末の35.4%から当第3四半期会計期間末は36.1%になりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	389,452	392,617
受取手形、売掛金及び契約資産	1,131,071	1,192,779
商品及び製品	171,098	209,026
仕掛品	383,623	448,406
原材料及び貯蔵品	263,074	323,096
その他	34,449	18,763
貸倒引当金	△290	△300
流動資産合計	2,372,479	2,584,390
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	382,233	392,119
機械及び装置（純額）	484,392	507,863
土地	339,490	339,490
建設仮勘定	100,878	17,066
その他（純額）	63,349	62,694
有形固定資産合計	1,370,343	1,319,234
無形固定資産	35,158	79,631
投資その他の資産		
投資有価証券	92,113	103,463
その他	239,889	217,404
投資その他の資産合計	332,002	320,867
固定資産合計	1,737,505	1,719,733
資産合計	4,109,985	4,304,124

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	493,471	579,718
買掛金	178,969	188,669
短期借入金	437,244	544,073
未払法人税等	51,713	7,216
契約負債	28,439	9,464
賞与引当金	42,183	11,990
その他	215,961	158,670
流動負債合計	1,447,983	1,499,802
固定負債		
長期借入金	852,695	926,258
退職給付引当金	306,215	279,258
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	18,467	18,467
固定負債合計	1,205,268	1,251,874
負債合計	2,653,252	2,751,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	265,111	352,228
自己株式	△50,433	△50,569
株主資本合計	1,449,857	1,536,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,875	15,607
評価・換算差額等合計	6,875	15,607
純資産合計	1,456,733	1,552,446
負債純資産合計	4,109,985	4,304,124

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,434,782	2,958,791
売上原価	2,021,855	2,456,378
売上総利益	412,927	502,412
販売費及び一般管理費	345,806	389,390
営業利益	67,120	113,021
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	2,886	3,173
為替差益	4,881	11,991
保険解約返戻金	4,505	8,032
その他	4,541	3,673
営業外収益合計	16,829	26,885
営業外費用		
支払利息	7,439	6,456
その他	5,687	934
営業外費用合計	13,126	7,391
経常利益	70,823	132,516
特別利益		
固定資産売却益	0	149
特別利益合計	0	149
特別損失		
固定資産廃棄損	201	725
投資有価証券評価損	41,138	—
特別損失合計	41,339	725
税引前四半期純利益	29,485	131,940
法人税、住民税及び事業税	22,561	25,035
法人税等調整額	4,549	19,787
法人税等合計	27,111	44,823
四半期純利益	2,374	87,117

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,248,040	154,117	32,624	2,434,782	—	2,434,782
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,248,040	154,117	32,624	2,434,782	—	2,434,782
セグメント利益	156,878	15,561	17,477	189,917	△122,797	67,120

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,761,332	191,498	5,960	2,958,791	—	2,958,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,761,332	191,498	5,960	2,958,791	—	2,958,791
セグメント利益又は損失 (△)	214,287	36,135	△9,839	240,583	△127,561	113,021

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。